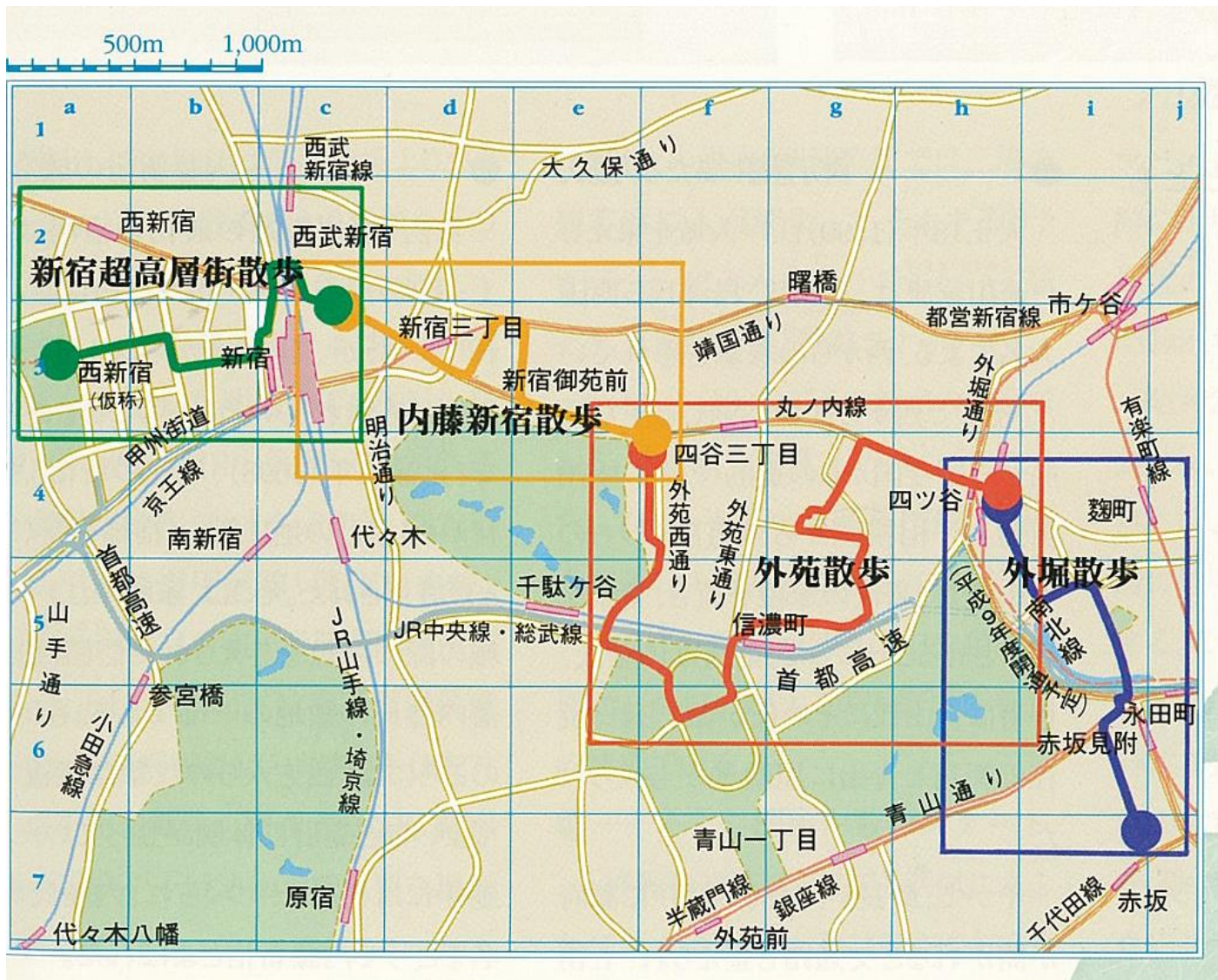


6 新宿コース 新宿中央公園—赤坂—ツ木 9.0km

甲州街道を通り、江戸から明治の東京への変遷をたどる

新宿は、江戸時代からこんにちにいたるまで、交通の要衝でありつづけている。新宿駅の1日の乗降客数は昭和2年（1927）に上野や東京をぬいて日本一となった。かつての甲州街道で、現在も東京の大動脈である新宿通りからは、明治神宮外苑や皇居外堀なども近く、江戸と明治の東京の姿をしのぶこともできる。

▶ 新宿中央公園から四谷見附を経て赤坂にいたるこのコースは、新宿超高層街散歩、内藤新宿散歩、外苑散歩、外堀散歩の4つの散歩道からなる。新宿超高層街散歩は、超高層ビル街に淀橋浄水場のなごりを訪ね、内藤新宿散歩は、新宿発展のルーツ内藤新宿の面影をしのぶ散歩道。外苑散歩は近代日本の足跡と、江戸初期からの寺町のたたずまいをたどり、外堀散歩では外堀公園や迎賓館、紀尾井坂など、見晴らしのよい道がつづく。風景がダイナミックに移りかわり、都心の活気あふれるコースだ。



6-a 新宿超高層街散歩 新宿中央公園—新宿駅 1.2km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。

6-d 外堀散歩 四ッ谷駅—赤坂—ツ木 1.8km



※掲載内容は平成8年3月時点のものです。